

ダム等管理フォローアップ

意見を受けての報告書修正対応表

【青蓮寺ダム】

平成29年 3月

水資源機構  
関西・吉野川支社

## 【青蓮寺ダム】

### 1. 事業の概要

特になし

### 2. 治水

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
2.3 洪水調節の 状況 本編 P2-10 概要版 P12	・名張川上流3ダムの統合操作では、あらかじめ3ダムの運用方法を決めているのか。	・ダムの空き容量と流入量予測を踏まえ、名張川上流3ダムの空き容量率が同一になるように運用している。	—

### 3. 利水

特になし

### 4. 堆砂

特になし

### 5. 水質

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
5.7 まとめ       本編 P5-281 概要版 P63	・底層の溶存酸素は、生物への影響や栄養塩などの溶出の観点で注目されている。最近、藻類の異常増殖はすくなくなっているが、分画フェンスの運用とからめて検討しておいてほしい。将来、気候変動による栄養塩などの溶出が増えるとアオコの発生に関連する可能性があるため、これまでの分画フェンスの運用、底層の溶存酸素の低下状況及びアオコの発生地点との関係について再整理を行うこと。また、分画フェンスの運用については、固定的に考えず、環境が変化していることを前提にさらに検討を行うこと。	・データを確認し、状況に応じて分画フェンスの運用を検討していく。	—

### 6. 生物

項目	意見	整理状況	今後の対応方針
6.3 生物の生 息・生育状 況の変化の 検証       本編 P6-94 概要版 P81	・ダム湖岸における植物群落の経年変化の平成22年度以前と平成27年度を比べるとクズ群落が大幅に減少し、アラカシ群落が増加しているが、このような極端な変動は「ドローンやGISによる詳細な解析」という現状の説明だけでは納得し難い。その増減の要因についてもう少し明快な解析が必要なのではないか。再考いただきたい。	【委員会意見により修正】 クズ群落については、ネザサ群落やスキ群落、ヌルデ-アカメガシワ群落への遷移が見られた。また、高木林では、アラカシ群落が増加しているが、これは高解像の空中写真を用いた他、現地調査では補足的にGPSによる正確な位置情報及びドローンを用いたことにより、平成22年度調査ではケヤキ群落と判定した群落の一部がアラカシ群落であることを確認したことによるもので、平成22年度に当該箇所をケヤキ群落としていた判定には誤りがあったものと考えられる。	—
6.3 生物の生 息・生育状 況の変化の 検証 本編 P6-182 概要版 P90	・外来種であるブルーギルやオオクチバス、ウシガエルやミシシippアカミミガメなどは対応策として、生息状況の把握・監視とされているが、増加した場合、どのような対応を考えているか。	・県市の環境関係部局と情報共有を図り、連携して対応していきたい。	・関係機関と情報共有を図り、連携して対応を図る。

7. 水源地域動態  
特になし

8. その他  
特になし